

地域連携だより

病院の理念

4つの心

人権尊重の心
向上心

人間愛の心
奉仕の心

病院の基本方針

- 常に医療水準のアップに努め、安全・安心・信頼を要とした医療を提供する。
- 地域の医療福祉機関との連携を密にし、地域における中核病院としての使命・役割を分担する。
- 人権の尊重と人間愛を基本とした医療を行うと共に、社会保険病院としての使命に基づき、地域住民の健康・福祉に寄与する。
- 患者様・受診者様のニーズに応えた病院サービスを提供する。

病院キャッチフレーズ 『笑顔で言葉をもって患者さんの身になって』

目次

地域連携だより ご挨拶
 病院長 田代 雅彦…………… 1
 新任部長紹介
 循環器・内科部長 羽鳥 貴………… 2
 新任医長紹介
 神経内科医長 大沢 天使………… 2
 消化器医長 岸 遂忠…………… 3
 地域連携・総合企画センターからの活動報告………… 4
 地域連携カンファレンス・講演会等、
 今後の開催予定 …… 4
 新MRI装置の導入
 放射線統括技師長 岸 俊夫………… 5
 外来診療担当医一覧表…………… 6

健康管理センターの理念

1. 生活習慣病を中心とした疾病の予防・早期発見
2. 健康保持増進のための適切な指導
3. 受診者の安心・信頼・満足
4. 人権尊重とプライバシーの保護

健康管理センターの基本方針

1. 生活習慣病を中心とした疾病の予防・早期発見を目指す。
2. 医療技術の向上に努め、信頼され安心して快適な健診を提供する。
3. 受診者の人権と知る権利を尊重するとともに、プライバシーの保護に努める。
4. 地域住民の方々の健康管理と福祉に寄与することを目指す。

健康管理センターキャッチフレーズ 『健康な 今だからこそ 健康診断』

地域連携だより ご挨拶 病院長 田代 雅彦



先生方におかれましては、昨年度は地域連携にご協力いただきましてありがとうございます。おかげさまで順調に経緯した一年だったと思っています。

大きく変わったことがなかった一年でしたが、それでも思い出してみるといくつかのことはできているようです。病院では駐車場に少し手をいれました。古くなったゲートを取り替えるとともに、病院南側の駐車場（第3駐車場）は入り口、出口を変更しました。少しでも使いやすくなってもらえればと思っています。また、北側の立体駐車場（第2駐車場）は、ロイヤルホテルと共同でお互いの駐車場を利用できるようにいたしました。混雑時にはロイヤルホテルの駐車場を利用させていただくことで、今までよりは駐車場での待ち時間が減ればと思っています。

診療体制は大きく変わりませんが、本年度も新しい力が加わりました。詳しくは、この連携だよりで紹介されています。一読をお願いします。十分に力を発揮してもらえるものと思っています。

昨年もお知らせしましたが、準備していたMRの更新はやっと終わり、稼動を始めました。3.0テスラの機種で今まで以上に性能を発揮してくれるものと思っています。

ところで、ご存知の方も多いと思いますが、社会保険病院は厚生年金病院などとともに平成26年4月から新しい独立行政法人地域医療機能推進機構となることが決まっています。今までの公設民営から公設公営になります。残すところすでに一年をきってしまいました。事務的な準備もなかなか整わない状況です。当院ももちろん新しい地域医療機能推進機構の病院の一つです。当然、新しい機構のミッションでもある、地域医療と地域包括ケアが求められます。まさに地域連携を充実

し、その要としてやっていくことが求められています。とはいえ、新しい機構になっても病院の診療は全く変わらないと私は思っています。今出来ていること、やっていることがまさに地域医療と考えているからです。ただ今後は私たちの意識を変える必要はあり、はっきり地域医療を意識し、日々の診療を行うことになると思います。新しい機構の理想を目指し、微力ですが職員一同努力する所存です。これからもご協力よろしくお願いたします。

新任部長紹介 循環器・内科部長 羽鳥 貴



地域の先生方、いつも大変お世話になっております。

6年前より当院に内科として勤務させて頂いておりますが、この度あらためて循環器・内科として勤めさせて頂く事になりました、羽鳥 貴と申します。

平成5年に群馬大学 第二内科（現 臓器病態内科学）に入局させて頂き、以後循環器内科を中心に関連病院で内科診療をさせて頂いております。

循環器内科領域も現代では専門性が主に2～3分野化されております。1つは虚血性心疾患—検査治療分野、1つは不整脈—検査治療分野、そして高次専門機関では画像診断分野（心臓エコー、心臓CTやMRI、心臓核医学検査）が1つの分野として独立している場合もあります。また皆様ご承知のとおり、循環器領域も外科的治療が大きなウェイトを占めますが、主に虚血性心疾患の冠動脈バイパス術、心臓弁膜症、大動脈疾患等の手術がそれにあたり、内科分野でも虚血性心疾患カテーテル治療やペースメーカー植込み術に加え、最近では不整脈カテーテルアブレーションや大動脈ステント等の手術手技が発展しております。残念ながら現在当院では心臓血管外科はございませんので、私としましては上記3分野において当院で行える手技を駆使して患者様の診断や治療に努力したいと考えております。基礎検査に加え心エコーや心臓CT、カテーテル検査を用いてなるべく詳細な診断を行い、虚血性心疾患のカテーテル治療と徐脈性不整脈に対するペースメーカー植込み治療を中心に地域医療に貢献し、その他の不整脈に対するカテーテルアブレーションや心臓血管外科分野の治療におきましては患者様やご家族のご意向も汲み取りながら、適切に他施設との連携をとって参りたいと考えております。今までも皆様からのご紹介も含めまして、そのような考えのもと診療にあたらせて頂いておりましたが、今後も地域の先生方や患者様の少しでもお役にたてるよう、より努力してゆきたいと思っております。至らない点多々あるかと存じますが、今後とも何卒宜しくお願申し上げます。

新任医長紹介 神経内科医長 大沢 天使



大沢 天使（おおさわ てんし）と申します。

平成18年より非常勤として週に1回当院で神経内科外来を担当してまいりましたが、このたび常勤医として内科の一員に加えていただくことになりました。

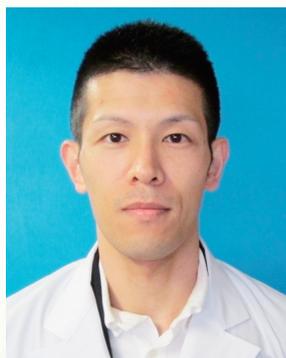
出身は埼玉県で、群馬大学医学部を平成9年に卒業しました。卒業後は群馬大学神経内科へ入局し県内で研鑽を積んできました。早いもので人生の半分以上はここ前橋で過ごしていることとなります。学生時代は柔道部に所属しておりましたので、当院には柔道部OBの北原先生、内藤先生が

いらっしゃることからときどき出入りさせていただいておりました。このようになにかとご縁のあった病院へ常勤医として勤務できることとなり、大変嬉しく感じています。責任をもって診療にあたる所存ですのでよろしくお願いいたします。

業務としましては内科疾患のうち主に神経疾患に関して担当させていただきたいと考えております。中でも特に力を入れたいのは認知症の診療です。みなさまもご存じの通り、日本は現在、歴史上類をみない高齢化社会へ向かって突き進んでいます。認知症患者数も右肩上がりが増加し、直近の厚生労働省の調査によれば本邦の認知症患者数は300万人を超えたとされています。これは予想を上回るスピードでありここ10年間で患者数はほぼ倍増している計算になります。

平成24年の厚生労働省認知症プロジェクトチームからの報告では「認知症になっても本人の意思が尊重され、できる限り住み慣れた地域のよい環境で暮らし続けることができる社会の実現を目指す」ことが明記されました。そういった社会へ向け、神経内科医の役割は早期診断・早期支援が重要と考えておりますが、しかし認知症の診療・介護は神経内科医ひとりでは成立しません。様々な分野の方々のお力添えが必要です。かかりつけ医のみなさまや地域の包括介護支援センターとの円滑な連携に努めてまいり所存ですので、今後ともよろしくお願いいたします。

新任医長紹介 消化器医長 岸 遂忠



岸 遂忠（きし かつなり）です。高崎で生まれ育ち（高崎高校94期）、富山で大学生活をおくりました。富山大学消化器内科に入局し8年間勤務、その後東京、高崎で勤務しました。今回御縁をいただきまして、2013年4月より当院消化器科で勤務しております。私の専門分野の消化管内視鏡診断、治療とピロリ菌診療について紹介させていただきます。

初めに、消化管内視鏡についてです。静岡がんセンター内視鏡科での研修とその後勤務したがん研有明病院で、特殊光による拡大内視鏡診断や超音波内視鏡診断、内視鏡的粘膜切除術（EMR）、内視鏡的粘膜下層剥離術（ESD）による内視鏡治療を習得しました。拡大内視鏡の理解を深めるには”内視鏡病理医”であることが必要ですが、内視鏡所見と切除標本の対比、顕微鏡観察を自分自身で行うことで病理学的知識が深まったと思います。また、多数の大腸内視鏡検査を経験し、挿入困難症例への対処法も学びました。拡大内視鏡や大腸内視鏡挿入法について興味がある先生がいらっしゃいましたら、一緒に勉強していければと思いますのでお声掛けください。

次に、ダブルバルーン内視鏡（DBE）についてです。原因不明の消化管出血や悪性リンパ腫、クローン病に対してDBEを施行してきました。当院にはカプセル内視鏡とDBEを常備しておりますので、検査適応症例やお困りの症例について、ご紹介いただくと幸いです。

最後に、ピロリ菌診療についてです。日本ヘリコバクター学会ピロリ感染症認定医として、三次除菌などの自費治療を含めた除菌治療を行ってきました。本年二月よりヘリコバクターピロリ感染性胃炎の除菌治療が保険収載され、胃癌は予防の時代になりました。積極的に除菌治療を行い、胃炎、胃癌を総合的に治療していきたいと思います。地域医療連携を通じて先生方へ少しでもお力になれば、また御助力いただければ幸いです。よろしくお願いいたします。

地域連携・総合企画センターからの活動報告

	地域連携 カンファレンス	(人数)	感染対策地域連携 カンファレンス	(人数)	登録医大会	(人数)	市民健康 医学講座	(人数)	講演会	(人数)
4月			第1回	41					薬・薬連携	92
5月	在宅	139								
6月	産婦人科	76	第2回	46					地域連携学術	99
7月	外科	97								
8月					第11回	134			在宅情報交換会	67
9月	内科	83								
10月	神経内科	119	第3回	38						
11月	整形外科	82								
12月										
1月	小児科	68								
2月			第4回	40			整形外科	214		
3月	産婦人科	78							薬・薬連携	54
総計		742		165		134		214		303

以上のカンファレンスや講演会を行い、延べ1,558名の参加をいただきました。多くの方々のご参加をいただき、この場をお借りして御礼申し上げます。今後もこのような活動を継続していきたいと考えております。

地域連携カンファレンス・講演会等、今後の開催予定（平成25年4月現在）

地域連携カンファレンス

平成25年

- 5月21日（火） 地域連携
- 6月18日（火） 産婦人科
- 7月16日（火） 外科
- 9月17日（火） 内科
- 10月15日（火） 神経内科
- 11月19日（火） 整形外科

平成26年

- 1月21日（火） 小児科
- 3月18日（火） 消化器科



5月のカンファレンスは【よりよい地域医療連携の構築をめざして】をテーマに、パネルディスカッション形式で行う予定です。普段お世話になっている先生方にご意見をいただきながら、今後の連携につながる内容にしたいと思っていますので、是非ご参加ください。

講座・講演会

市民健康医学講座 7月（小児科）

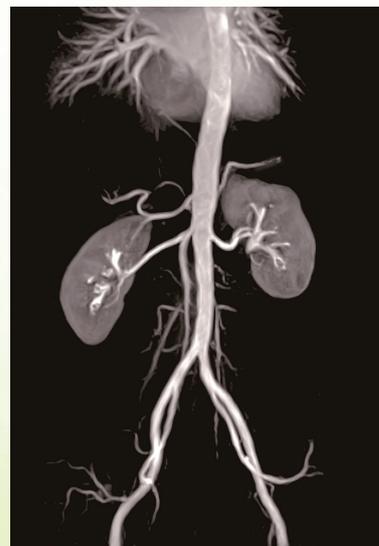
地域医療連携登録医懇親会（登録医大会） 8月22日（木）

新MRI装置の導入 放射線統括技師長 岸 俊夫

本年1月からMR装置をSIEMENS社製MAGETOM Skyra 3.0T（シーメンス社製 マグネトムスカイラ 3テスラ）に更新しました。ドイツSIEMENS社の最新型最高機種です。県内で一号機となります。以前のMR装置に比べて検査時間が短くなる上に、非常に綺麗な画像を得ることができ、格段に診断機能が向上しています。MRIは磁石と電波で画像を作るのですが、今までの磁石の強さ1.5テスラであったものが倍の3テスラになりました。この磁石の強さが2倍に上がったことだけでも画像を作る信号の強さも比例して大きくなります。それに加えて最新の技術を導入していますから非常に綺麗な画像を得る事が出来るのです。

撮影ソフトも拡充しました。MR最大の欠点であった撮影中の動きに対しても大丈夫となりました。少し動いたからと言って再度撮影と言うことは無くなり、また、金属が体に入っていると真っ黒になり、更に歪んだ画像になってしまった画像を低減して画像を描出することが出来るようになりました。だからと言って金属が入っていてもOKとなったわけではありませんので十分な問診と金属チェックをお願いします。他にも今まで以上に薄いスライスで撮影することが出来ますので、小さな病変も描出可能となります。体を入れるガントリの幅が10cmも広くなりますし、長さも174cmとかなり短くなりますから、膝の撮影であれば顔がガントリの外に出るくらいです。とても患者さんに優しくなります。ただ良い事ばかりではありません。撮影中の音がうるさくなりました。撮影中に温かく感じたものが更に温かく感じるかもしれません。また金属を持ち込む事故の増加も報告されています。それに備えて大きな金属探知機を検査室の出入口に設置しました。MRIを設置している40%の施設で酸素ボンベ・点滴台の吸着事故が報告されているようです。

繁忙期には1週間待ち以上でしたが1日3枠増加で実施していますので、今まで以上に連携医療機関の先生からのご依頼にも対応できるようになりました。ぜひ新しいMR装置に期待して頂ければと思います。



外来診療担当医一覧表

【平成25年4月1日現在】

科	曜	月	火	水	木	金
内科	午前	北原 羽鳥 長谷川 齋藤	羽鳥 阿久澤 関 葉山	北原 戸塚 大沢 青木	北原 今井 戸塚 奥	予・今井(循環器) 阿久澤 奥 関
	午後 (予約)	今井(循環器) 戸塚(循環器) 阿久澤(循環器) 青木(呼吸器)	北原(循環器) 奥(循環器)	関(循環器) 今井(糖尿病)	伊藤(循環器) 解良(呼吸器)	北原(循環器) 羽鳥(循環器) 大山(糖尿病)
和漢診療科	午前	小暮	小暮 原田	小暮 巽	小暮 葉山	小暮
	午後	小暮		小暮(リウマチ)	小暮	
神経内科	午前	予・大沢				
	午後		予・大沢		予・長嶺	
小児科	午前	田代 緒方 予・須永(神経発達)	須永	田代 予・須永(神経発達) 予・富田(神経発達)	田代 須永 予・水野(アレルギー)	須永 予・水野(アレルギー)
	午後 (予約)	須永(神経発達) 水野(アレルギー) 新井(専門)	須永(神経発達) 高木(専門)	田代(心臓) 須永(神経発達)	田代(心臓) 篠原(心臓)(第3週) 高木(腎臓) 池内(腎臓)(第1・3週) 吉澤(腎臓)(第2・4・5週) 鈴木(専門)	須永(神経発達) 富田(神経発達) 迫(神経発達) 水野(アレルギー) 高木(専門)
外科	午前	内藤 深澤 吉田	内藤 田部 萩原 桐山(ESD)内視鏡治療	斎藤 山内 吉田	内藤 深澤 福地 山内(乳腺甲状腺)再診のみ	斎藤 桐山(ESD)内視鏡治療 田部(大腸・肛門)
	午後		(紹介)山内(乳腺甲状腺) 13:00~14:00		茂木(呼吸器)	
消化器科	午前	堀内/湯浅(隔週) (肝臓)	岸	堀内	山田(大腸)	湯浅
皮膚科			午前 予・田村			午後 予・永井
泌尿器科				午前 羽鳥(第2・4週)		
整形	午前	寺内(膝) 堤(脊椎) 中川(脊椎) 小林(脊椎)	寺内(膝) 堤(脊椎) 萩原(膝) 橋本	中川(脊椎) 萩原(膝) 橋本 畑山(膝)	堤(脊椎) 中川(脊椎) 小林(脊椎)	寺内(膝) 萩原(膝) 小林(脊椎) 橋本
	※膝・脊椎の記載について・・・整形外来は一般外来として診察を行なっておりますが、紹介患者さまについては殆どの方が専門的治療が必要な状態と考えられます。混乱を避けるために専門分野の記載をしています。					
産科 婦人科	午前	伊藤 金井 勝俣(妊婦健診)	勝俣 安部(妊婦健診)	太田 栗原 伊藤(妊婦健診)	栗原 伊藤(不妊外来) 太田(妊婦健診)	伊藤 安部 栗原(妊婦健診)
	午後 (予約)	太田(手術後・検査) 栗原(妊婦健診) 助産師外来	手術	伊藤(手術予約) 勝俣(産後外来) 助産師外来	安部(手術後・検査) 篠崎(ハイリスク妊婦) 検査 助産師外来	太田(手術後・検査) 勝俣(妊婦健診) 助産師外来
眼科	午前	花田	花田 鹿嶋	花田 鹿嶋	花田	下田
耳鼻咽喉科	午前	内山 群大	予・内山	予・内山	予・内山	予・内山
	午後	予・内山	予・内山(嚥下外来)	予・内山		予・内山(嚥下外来)
麻酔科	午前	大川	原	富岡	高橋	大川
ペイン	午前					小幡(第2週)
歯科	午前					
	午後	平林	平林	平林	平林	平林

※午後の外来は基本的に予約患者のみとなっています。

※整形外科の木曜日の専門は、脊椎のみとなっています。

社会保険 群馬中央総合病院

〒371-0025

前橋市紅雲町1丁目7番地13号

TEL.027-221-8165 FAX.027-224-1415

診察、検査の予約は地域連携・総合企画課へ

TEL. 027-223-1373(直通)

FAX. 027-223-1374(直通)

